

科目名	七祖教義 I					単位	2.0
担当教員	黒田 浩明						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5301

●授業のテーマ

七祖の「生涯」と「思想」に学ぶ

●到達目標

親鸞が七高僧と仰ぐ、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・源空の生涯と思想について、「正信偈」依釈段や『高僧和讃』などの学びを通して、基本的知識を習得する。その中で、大乘仏教の伝統を、親鸞がいかにかに受けとめていったのか、という視点を獲得する。

●学習内容(授業概要)

①七祖の生涯をそれぞれ尋ね、彼らがどのような時代に生まれ、またどのような思想課題を担っていたのかを学んでいく。

さらに、②七祖の明らかにした教えが、どのように親鸞の教学へと受け継がれていくのかということを探り尋ねていく。

前期は七祖のうち、主に龍樹・天親・曇鸞の生涯と思想について学ぶ予定である。

●学習内容(授業計画)

1. 授業のガイダンス
2. 概説① 親鸞浄土教の基本的性格
3. 概説② 仏教伝来の歴史と浄土教の地位
4. 概説③ 親鸞における七高僧の意義
5. 龍樹① その生涯
6. 龍樹② 大乘無上の法
7. 龍樹③ 易行の大道
8. 天親① その生涯
9. 天親② 一心の顕彰
10. 天親③ 無碍の光益
11. 曇鸞① その生涯
12. 曇鸞② 楽邦の菩薩
13. 曇鸞③ 本願他力
14. 補説
15. 総括(まとめ・テスト)

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…次回の授業で学ぶ範囲を予習(講読)してこること。

「事後学習」…授業で学んだ内容を復習して、そこから自分なりの課題や問題を見つけ出すこと。

●成績評価方法・基準

- ①平常点(出席・受講態度など)60%、②期末試験(筆記またはレポート)40%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

≪No.2.≫書籍名：『浄土の真宗 真宗概要―』、著者名：真宗大谷派教科書編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

テキストは必ず持参すること。